

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （平成29年12月8日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

- 益子町内の小学生等により、かつて町内の山に数多く生育し益子町の風土を形作り古くから窯業の燃料として利用され『焼き物の里益子』のシンボルともいえるアカマツによる森づくりを行う取り組み。
- 同時にアカマツと町とのつながりの歴史について学び、子供たちの郷土愛を育み、深めていくとともに、自然や森林の大切さ、木を使うことの意義、地域住民の森づくりへの理解促進を図る取り組み。
- 平成29年8月に実行委員会を設立し、取り組みをスタートさせました。

平成29年12月8日(金)晴れ

プロジェクトの第一弾取り組みとして「枝打ちの体験学習」が、益子の森のアカマツ林において実施され、益子町立七井小学校6年生が体験しました。

今回は、その様子をお知らせしたいと思います。

対象のアカマツ林



平成28年11月に、実行委員会の中心メンバーである〔益子里山の会〕の方々が下刈り等の手入れを実施していただきましたが、アカマツ同士が混み合っていたり、枯れた下枝等が残ったままで、まだまだ手入れが必要です。

昨年の手入れの様子です。





## 安全第一に！

子供たちが到着する前に、指導にあたる益子里山の会の方々が入念に打ち合わせです。

## 児童たちが到着！

七井小学校6年生  
児童約60名、引率の先生3名  
それぞれがヘルメットを手に、  
緊張のおももちです。



## 町木アカマツ について

難しい話は短めに。  
まず、やってみよう！

## いざ、出発！



## エー！ こんなところ登っていくの？

あえて、歩道ではなく、林の中を登って  
いきます。これも体験のひとつ。

## 現場到着！



## 枝打ちの見本を実演

子供たちは真剣なまなざしで聴いています。

## 枝打ち体験開始！

一斉に林内に散らばって行きます。

交代で、みんなで体験します。



### こんなノコギリ初めて！



### 上手！その調子！



### お！高いところは気を付けて



### 出来るだけ幹に沿って



### 力を入れ過ぎないように！



### これは、僕がキレイにするぞ！



## 体験作業終了！

夢中になった体験も  
あっという間に終わりです。



みんな！  
キレイなアカマツ林に  
なったかな？

枝を払ってもらったアカマツの樹々  
サッパリとしました。

## 帰りは散策道を

帰りは益子の森の中の  
散策道を通りました。



木工用のノコギリは使ったことがあるけれど、「枝打ち用のノコギリを使うのは初めて」という子供たちがほとんどでした。

中には、「おじいさんのところでやったことがある」と、他の子に教えてあげる子もいて、頼もしい限りでした。

引率の先生からも「滅多にできない貴重な経験をさせてもらった」とお言葉をいただき、プロジェクト実行委員会の面々も、子供たちと同じ満面の笑みを浮かべていました。

年明けには、プロジェクト第二段が待っています。

今度の主役は、七井小学校の5年生。実行委員会の皆様、よろしくお願いします。

この体験教室の実施に当たっては、「とちぎの元気な森づくり県民税」が使われています。